



Cisco IP Phone キー拡張モジュール

- [Cisco IP Phone キー拡張モジュール セットアップの概要, 1 ページ](#)
- [キー拡張モジュールの電源情報, 2 ページ](#)
- [Cisco IP Phone へのキー拡張モジュールの接続, 3 ページ](#)
- [電話機の Web ページからのキー拡張モジュールの設定, 7 ページ](#)
- [キー拡張モジュール セットアップへのアクセス, 7 ページ](#)
- [キー拡張モジュールの工場出荷時の初期状態へのリセット, 8 ページ](#)
- [キー拡張モジュールのトラブルシューティング, 9 ページ](#)

Cisco IP Phone キー拡張モジュール セットアップの概要

Cisco IP Phone 8800 キー拡張モジュールは、追加のライン アピアランス、短縮ダイヤル、またはプログラム可能なボタンを電話機に追加します。プログラム可能ボタンは、電話回線ボタン、短縮ダイヤル ボタン、または電話機能ボタンとして設定できます。

Cisco IP Phone 8800 キー拡張モジュール は、追加のプログラム可能なボタンを電話機に追加します。プログラム可能ボタンは、電話回線ボタン、短縮ダイヤル ボタン、または電話機能ボタンとして設定できます。



次の表に、電話機のモデルと、各モデルでサポートされるキー拡張モジュールの数を示します。

表 1: Cisco IP Phone とサポートされるキー拡張モジュール

Cisco IP Phone モデル	サポートされるキー拡張モジュール
Cisco IP Phone 8851	2。72 の回線またはボタンを提供
Cisco IP Phone 8861	3。108 の回線またはボタンを提供

キー拡張モジュールの電源情報

Cisco IP Phone 8800 キー拡張モジュールがあると、電話機の電力消費量が増加します。複数のキー拡張モジュールが接続されている電話機に必要な電力は、スイッチの Power over Ethernet (PoE) から供給される場合もありますが、電源キューブの使用が必要になることがあります。必要な電力が PoE 機器で供給可能かどうかを判定する上で、次の表を参考にすることができます。

Cisco IP Phone 8800 キー拡張モジュール電力消費量と電源要件は次のとおりです。

消費電力

48 V DC、キー拡張モジュールごとに 5 W

電源要件

電話機は 1 台のキー拡張モジュールに直接電力を供給できます。詳細については、次の表を参照してください。

スマートフォンまたはタブレットを充電する場合は、次の点に注意してください。

- 側面の USB：最大 500 mA/2.5 W の充電。
- 背面の USB：高速充電。最大 2.1 A/10.5 W の充電。

表 2: キー拡張モジュールの電源

アクセサリ	Cisco IP Phone 8851		
	802.3af PoE	802.3at PoE	Cisco IP Phone Power Cube 4
1 台の KEM	サポート対象	サポート対象	サポート対象
2 台の KEM	未サポート	未サポート	サポート対象
3 台の KEM	未サポート	未サポート	未サポート
1 台の KEM + タブレット充電	未サポート	未サポート	未サポート
2 台の KEM + タブレット充電	未サポート	未サポート	未サポート

	Cisco IP Phone 8851		
アクセサリ	802.3af PoE	802.3at PoE	Cisco IP Phone Power Cube 4
3 台の KEM + タブレット充電	未サポート	未サポート	未サポート

	Cisco IP Phone 8861		
アクセサリ	802.3af PoE	802.3at PoE	Cisco IP Phone Power Cube 4
1 台の KEM	未サポート	サポート対象	サポート対象
2 台の KEM	未サポート	サポート対象	サポート対象
3 台の KEM	未サポート	サポート対象	サポート対象
1 台の KEM + タブレット充電	未サポート	サポート対象	サポート対象
2 台の KEM + タブレット充電	未サポート	サポート対象	サポート対象
3 台の KEM + タブレット充電	未サポート	サポート対象	サポート対象



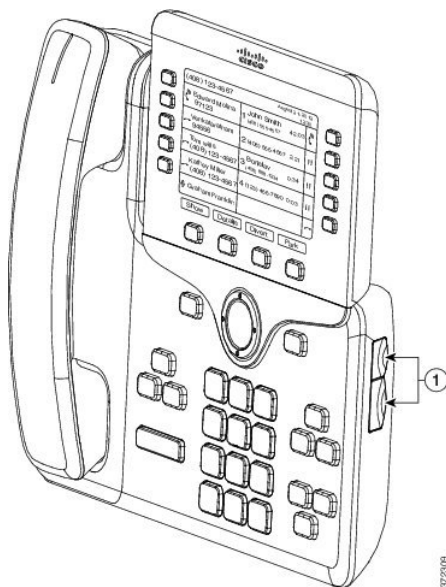
(注) 複数のキー拡張モジュールを Cisco IP Phone 8861 に接続する場合、背面の USB ポートを使用した高速充電機能はサポートされません。この場合、背面ポートによってデバイスは低速で充電されます。

Cisco IP Phone へのキー拡張モジュールの接続

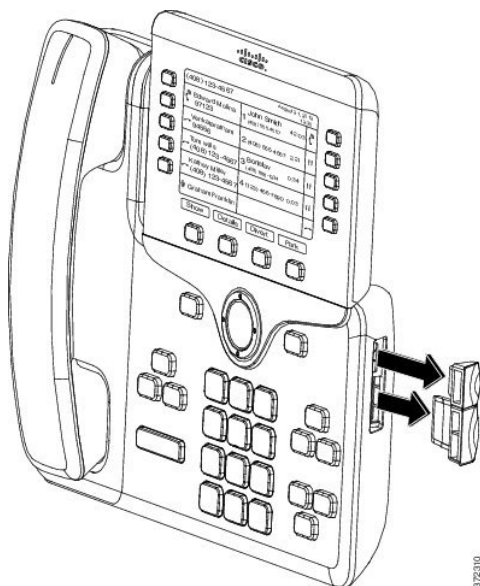
複数の拡張モジュールを取り付ける場合は、ステップ 7～9 を繰り返して、他の拡張モジュールを接続します。

手順

- ステップ 1** 電話機からイーサネット ケーブルを抜きます。
- ステップ 2** 装着されている場合、電話機からフットスタンドを取り外します。
- ステップ 3** 電話機側面のアクセサリ コネクタ カバーを探します。
次の図に場所を示します。



ステップ 4 図に示されているように、2つのアクセサリ コネクタ カバーを取り外します。



注意 スロットはスパイン コネクタ専用設計されています。他の物体を挿入すると、電話機が損傷して回復不能になります。

ステップ 5 電話機の正面を上に向けます。

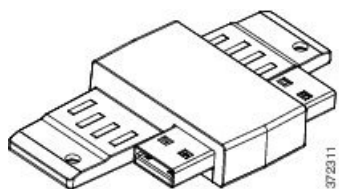
ステップ 6 キー拡張モジュール スパイン コネクタの一端を Cisco IP Phone のアクセサリ コネクタに差し込みます。

a) アクセサリ コネクタ ポートとスパイン コネクタの位置を合わせます。

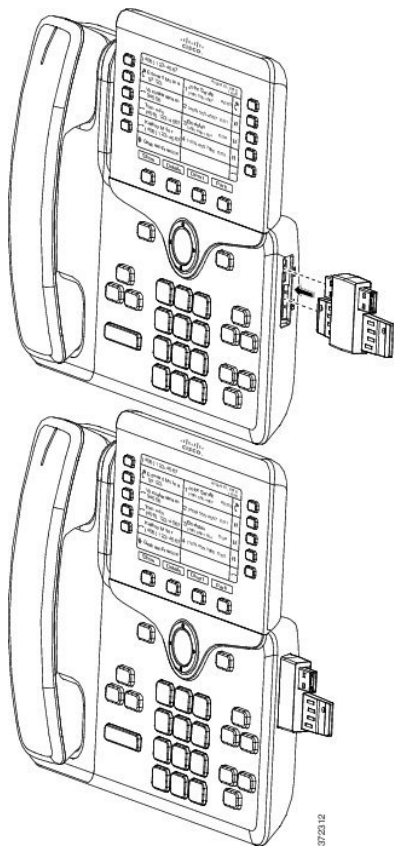
(注) 次の図に示す向きにコネクタを取り付けます。

b) 電話機へスパイン コネクタをしっかりと押し込みます。

スパイン コネクタを図に示します。

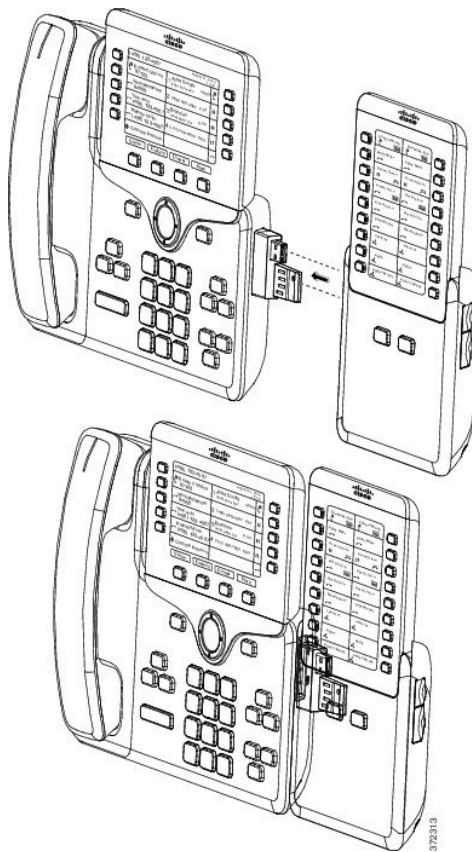


スパイン コネクタの取り付け図を示します。

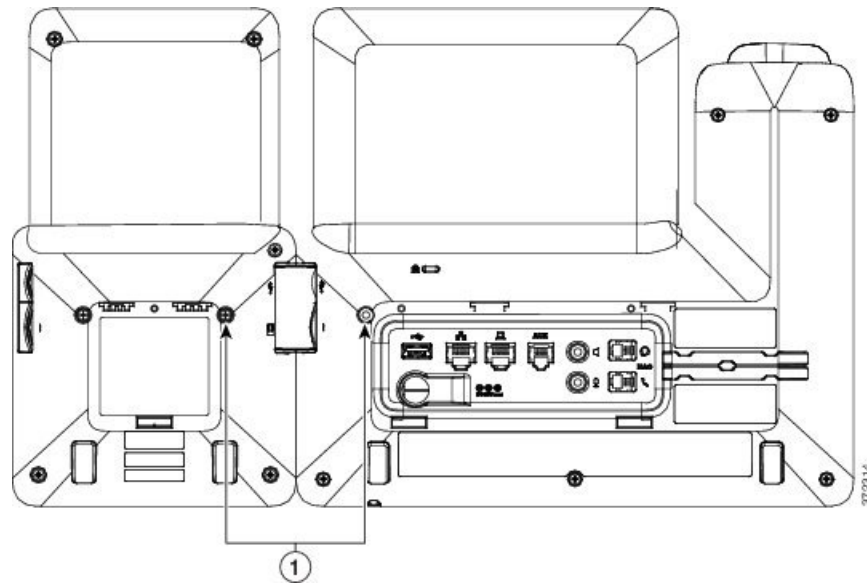


ステップ 7 この図に示されているように、スパイン コネクタの反対側を、キー拡張モジュールに接続します。

- a) キー拡張モジュール アクセサリ コネクタ ポートとスパイン コネクタの位置を合わせます。
- b) キー拡張モジュールをスパイン コネクタにしっかり押し込みます。



- ステップ 8** (任意) 別のキー拡張モジュール スパイン コネクタを使用して、2 台目のキー拡張モジュールを 1 台目のキー拡張モジュールに接続します。
- ステップ 9** (任意) 第 3 のキー拡張モジュール スパイン コネクタを使用して、3 台目のキー拡張モジュールを 2 台目のキー拡張モジュールに接続します。
- ステップ 10** ドライバを使用して電話機にネジを固定します。
この手順によって、電話機とキー拡張モジュールが常に接続された状態になります。次の図に、電話機とキー拡張モジュールのネジ穴の位置を示します。



(注) ネジが電話機にしっかり挿入され、締め付けられていることを確認します。

ステップ 11 (任意) フット スタンドを電話機とキー拡張モジュールに装着し、作業場所に平らに置けるよう、両方のフットスタンドを調節します。

ステップ 12 電話機にイーサネット ケーブルを挿入します。

電話機の Web ページからのキー拡張モジュールの設定

電話機の Web ページからキー拡張モジュールを設定できます。

手順

- ステップ 1** 電話機の Web ページで、[管理者ログイン (Admin Login)] > [詳細 (Advanced)] > [音声 (Voice)] > [アテンダント コンソール (Attendant Console)] の順にクリックします。
- ステップ 2** [ユニット数 (Number of Units)] リストから、サポートされるキー拡張モジュールの数を選択します。
- ステップ 3** [すべての変更を送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

キー拡張モジュール セットアップへのアクセス


電話機に 1 台以上のキー拡張モジュールを取り付けて、設定ユーティリティ ページでそれらを設定すると、キー拡張モジュールは電話機によって自動的に認識されます。

複数のキー拡張モジュールを接続した場合は、電話機に接続された順序に従って番号付けされます。

- キー拡張モジュール 1 は電話機に一番近い KEM です。
- キー拡張モジュール 2 は中央の KEM です。
- キー拡張モジュール 3 は一番右側の KEM です。

電話機がキー拡張モジュールを自動的に認識する場合は、[詳細の表示 (Show Details)] ソフトキーを選択して、選択したキー拡張モジュールに関する追加情報を表示できます。

手順

-
- ステップ 1** 電話機で、[アプリケーション (Applications)]  を押します。
- ステップ 2** [ステータス (Status)] > [アクセサリ (Accessories)] を押します。
適切に取り付けられ、設定されたキー拡張モジュールはすべて、アクセサリのリストに表示されます。
-

キー拡張モジュールの工場出荷時の初期状態へのリセット

手順

-
- ステップ 1** キー拡張モジュールに電源を入れ、ページ 1 を押し、キーを押したままにします。LCD が白に変わってから少なくとも 1 秒間、ページ 1 を押し続けます。
- ステップ 2** ページ 1 を離すと、LED が赤くなります。すぐに [ページ 2 (Page 2)] を押し、少なくとも 1 秒間は [ページ 2 (Page 2)] を押し続けます。
- ステップ 3** ページ 2 を離すと、すべての LED がオレンジになります。
- ステップ 4** 回線 5、14、1、18、10、9 の順に押します。
LCD が青に変わり、スピニング ロードのアイコンが中央に表示されます。
キー拡張モジュールがリセットされます。
-

キー拡張モジュールのトラブルシューティング

手順

-
- | | |
|--------|---|
| ステップ 1 | CLI を開きます。 |
| ステップ 2 | 次のコマンドを入力してデバッグ モードを開始します。
debugsh |
| ステップ 3 | 「?」を入力すると、使用可能なすべてのコマンドとオプションが表示されます。 |
| ステップ 4 | 適切なコマンドとオプションを使用して、必要な KEM 情報を検索します。 |
| ステップ 5 | デバッグ モードを終了するには、Ctrl キーを押した状態で C キーを押します。 |
-

